

※平成25年度の調査票です。

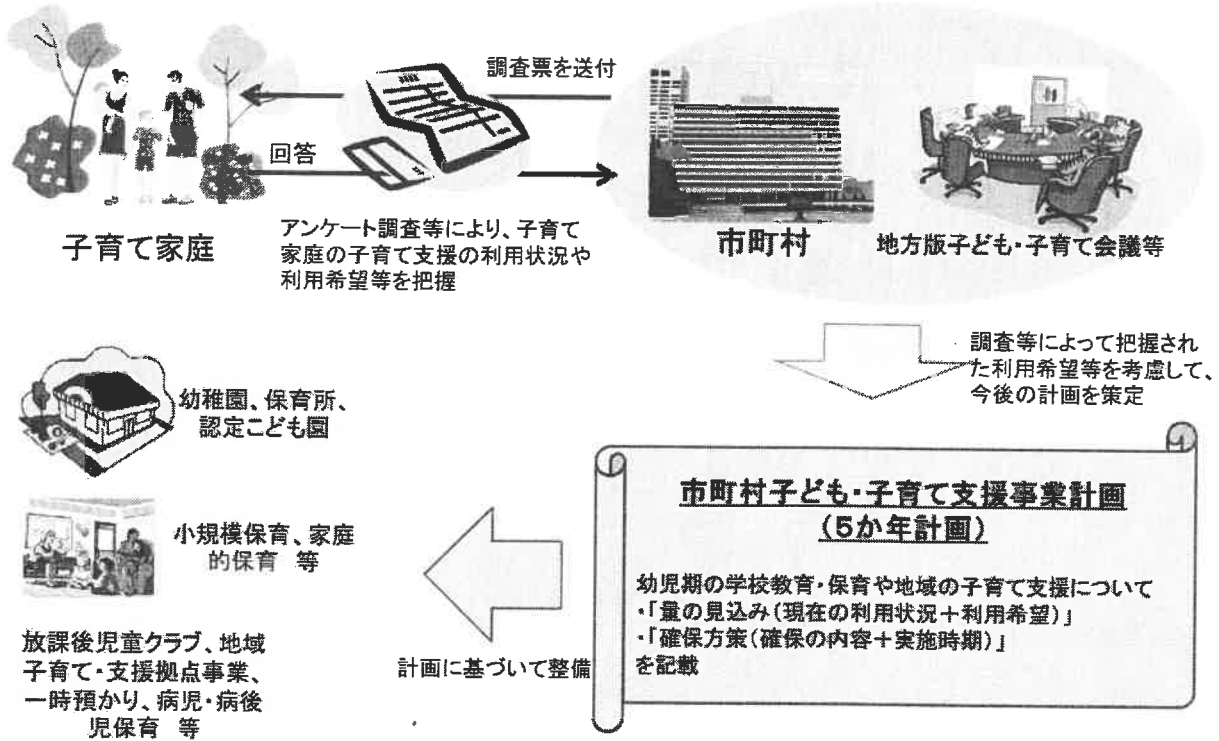
★印の付いている項目は逗子市独自の項目です。

調査票のイメージ (逗子)

- 調査対象となる子どもの保護者が記入することを想定
- 量の見込みの推計上必要な項目を青字で表記

(注) 施設・事業の名称についてそれぞれの地域で親しまれている名称とするなど、回答者にとって分かりやすい名称に変更することも可能。

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(用語の定義)

この調査票における用語の定義等は別紙のとおりです

子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます。

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんから見た関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|---|-------|-------|--------|--------|--------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 幼稚園 | 6. 保育所 |
| 7. 認定こども園 8. その他（ ） | | | | | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|--------------------------------|-------|--------|--------|-----------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 幼稚園 | 4. 保育所 | 5. 認定こども園 |
| 6. その他（ ） | | | | |

★ 問8-1 保護者と遊ぶ場所について日頃どのような場所を利用していますか。最もよく利用する場所を3つまで○をつけてください。

- | | |
|----------------|--------------------------------|
| 1. 自宅・祖父母等親戚の家 | 6. スーパーやショッピングモール |
| 2. 友だちの家 | 7. 有料のテーマパークなど |
| 3. 公園・海岸 | 8. その他（ ） |
| 4. 市の親子遊び場の施設 | |
| 5. その他公共施設 | |

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | |
|------------------------------------|---|---------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる | } | ⇒ 問9-1へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる | | |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる | } | ⇒ 問9-2へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる | | |
| 5. いずれもない | | ⇒ 問10へ |

問9-1 問9で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--------|
| 1. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる | ⇒ 問10へ |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である | |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である | |
| 4. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい | |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある | |
| 6. その他（ ） | |

宛名のお子さんの保護者の就労状況 についてうかがいます。

問12 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。

(1) 母親 【父子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 産休・育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<div style="font-size: 3em; line-height: 1;">}</div> <p style="text-align: center;">⇒ (1) -1へ</p> <div style="font-size: 3em; line-height: 1;">}</div> <p style="text-align: center;">⇒ (2)へ</p>
--	--

(1) -1 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

1週当たり □日	1日当たり □□時間
----------	------------

(1) -2 (1)で「1.～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず (例) 08時～18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。)

家を出る時刻 □□時	帰宅時刻 □□時
------------	----------

(2) 父親 【母子家庭の場合は記入は不要です】 当てはまる番号1つに○をつけてください。

<ol style="list-style-type: none"> 1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 2. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しており、 育休・介護休業中ではない 4. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）で就労しているが、 育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない 	<div style="font-size: 3em; line-height: 1;">}</div> <p style="text-align: center;">⇒ (2) -1へ</p> <div style="font-size: 3em; line-height: 1;">}</div> <p style="text-align: center;">⇒ 問14へ</p>
--	--

宛名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問 15-1 に示した事業が含まれます。

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 利用している ⇒ 問 15-1 へ | 2. 利用していない ⇒ 問 15-5 へ |
|----------------------|-----------------------|

問 15-1 問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|--|--|
| 1. 幼稚園
(通常の就園時間の利用) | 2. 幼稚園の預かり保育
(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ) |
| 3. 認可保育所
(国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの) | 4. 認定こども園
(幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設) |
| 5. 家庭的保育
(育者の家庭等で子どもを保育する事業) | 6. 事業所内保育施設
(企業が主に従業員用に運営する施設) |
| 7. 自治体の認証・認定保育施設
(認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設) | 8. その他の認可外の保育施設 |
| 9. 居宅訪問型保育
(ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業) | 10. ファミリー・サポート・センター
(地域住民が子どもを預かる事業) |
| 11. その他 () | |

問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間 (何時から何時まで) かを、□内に具体的な数字でご記入ください (数字は一桁に一字)。時間は、必ず (例) 09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。

(1) 現在

1 週当たり □ 日	1 日当たり □□ 時間 (□□ 時～ □□ 時)	
------------	----------------------------	--

(2) 希望

1 週当たり □ 日	1 日当たり □□ 時間 (□□ 時～ □□ 時)	
------------	----------------------------	--

問 16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。当てはまる番号すべてに○をつけてください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。認可保育所の場合、世帯収入に応じた利用料が設定されています。（自治体における料金設定を示す）

1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)
3. 認可保育所 (国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けた定員20人以上のもの)	4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)
5. 小規模な保育施設 (国が定める最低基準に適合した施設で市町村の認可を受けた定員概ね6～19人のもの)	6. 家庭的保育 (保育者の家庭等で5人以下の子どもを保育する事業)
7. 事業所内保育施設 (企業が主に従業員用に運営する施設)	8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、自治体が認証・認定した施設)
9. その他の認可外の保育施設	10. 居宅訪問型保育 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業)
11. ファミリー・サポート・センター (地域住民が子どもを預かる事業)	12. その他 ()

問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。「1.」「2.」のいずれかに○をつけてください。

1. 居住している市区町村内	2. 他の市区町村
----------------	-----------

★ 問 16-2 平日の日中の教育・保育事業を選択するにあたり、重視することは何ですか。当てはまる番号3つまでに○をつけてください。

1. 教育・保育の理念や内容	2. 自宅からの距離	3. 利用料金
4. 給食があること	5. 延長保育があること	6. 夏休み等の長期休業がないこと
7. その他		

問19-1 保育所・幼稚園・親子の居場所などの子育て支援に関する情報を、どこから入手していますか。
当てはまる番号すべてに○を付けてください。

★

1. 市の窓口・電話（市子育て支援課・児童青少年課など）
2. 市の広報誌「広報ずし」
3. 市が発行するチラシ等
4. 市のホームページ
5. 子育て支援センターや施設
6. 地域の団体等が発行する子育て情報誌、パンフレット、チラシ等
7. 民間企業等が発行する子育て雑誌、パンフレット、チラシ等
8. 知人・友人
9. インターネット（市のホームページ以外）
10. その他（）

**宛名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。
(平日の教育・保育を利用する方のみ)**

問 22 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1 に○をつけた方）にうかがいます。利用していらっしゃらない方は、問 23 にお進みください。

この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。

1. あった ⇒ 問 22-1 へ 2. なかった ⇒ 問 23 へ

問 22-1 宛名のお子さんが病気やけがで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法として当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。数字は一桁に一字。）。

1 年間の対処方法	日数
ア. 父親が休んだ	□□ 日
イ. 母親が休んだ	□□ 日
ウ. (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	□□ 日
エ. 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	□□ 日
オ. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
カ. ベビーシッターを利用した	□□ 日
キ. ファミリー・サポート・センターを利用した	□□ 日
ク. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	□□ 日
ケ. その他 ()	□□ 日

※ 「キ.ファミリー・サポート・センター」には、「病児・緊急対応強化事業」による利用も含まれます。

問 22-1 で「ア」「イ」のいずれかに回答した方にうかがいます。

問 22-2 その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけ、日数についても口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒ □□日 ⇒ 問 22-3 へ
2. 利用したいとは思わない ⇒ 問 22-4 へ

問 22-3 問 22-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
2. 小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
3. 地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（例：ファミリー・サポート・センター等）
4. その他 ()

⇒ 問 23 へ

⇒ 問 22-5 へ

**宛名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を
伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。**

問 23 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も口内に数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

利用している事業・日数（年間）	
1. 一時預かり （私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業）	□□ 日
2. 幼稚園の預かり保育 （通常の就園時間を延長預かる事業のうち 不定期に利用する場合のみ）	□□ 日
3. ファミリー・サポート・センター （地域住民が子どもを預かる事業）	□□ 日
4. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業）	□□ 日
5. ベビーシッター	□□ 日
6. その他（ ）	□□ 日
7. 利用していない	

⇒ 問 24 へ

問 23 で「7. 利用していない」と回答した方にうかがいます。

問 23-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 特に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間・ 日数など）がよくない
5. 利用料がかかる・高い	7. 自分が事業の対象者になるのかどうか わからない
6. 利用料がわからない	
8. 事業の利用方法（手続き等）がわからない	
9. その他（ ）	

問 24 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を口内に数字でご記入ください。数字は一桁に一字。）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	計 □□ 日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の 習い事等）、リフレッシュ目的	□□ 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む） や親の通院 等	□□ 日
ウ. 不定期の就労	□□ 日
エ. その他（ ）	□□ 日
2. 利用する必要はない ⇒ 問 25 へ	

問 24-1 へ

**宛名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の
放課後の過ごし方についてうかがいます。**

⇒ 5歳未満の方は、問30へ

問26 宛名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には、利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. ふれあいスクール (小学校施設を使った放課後事業のことで、保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から □□時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
★ 8. 現時点ではわからない	

問27 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「放課後児童クラブ」の場合には利用を希望する時間も口内に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください（数字は一枠に一字）。

※だいたい先のこととなりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

1. 自宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
4. ふれあいスクール (小学校施設を使った放課後事業のことで、保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。)	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
5. 放課後児童クラブ〔学童保育〕	週 <input type="checkbox"/> 日くらい → 下校時から □□時まで
6. ファミリー・サポート・センター	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
7. その他（公民館、公園など）	週 <input type="checkbox"/> 日くらい
★ 8. 現時点ではわからない	

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など
職場の両立支援制度についてうかがいます。

問30 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけ、該当する口内に数字をご記入ください（数字は一桁に一字）。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（いずれかに○）	父親（いずれかに○）
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	3. 取得していない ⇒ 取得していない理由（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

- 1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- 2. 仕事が忙しかった
- 3. （産休後に）仕事に早く復帰したかった
- 4. 仕事に戻るのが難しそうだった
- 5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
- 6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 7. 保育所（園）などに預けることができた
- 8. 配偶者が育児休業制度を利用した
- 9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
- 10. 子育てや家事に専念するため退職した
- 11. 職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
- 12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 13. 育児休業を取得できることを知らなかった
- 14. 産前産後の休暇（産前6週間、産後8週間）を取得できることを知らず、退職した
- 15. その他（ ）

問30-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問 30-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 30-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため | 2. 配偶者や家族の希望があったため |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要がある | 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため |
| 5. その他 () | |

(2) 「希望」より遅く復帰した方 ※当てはまる番号すべてに○をつけてください。

①母親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

②父親

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため | 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため |
| 3. 配偶者や家族の希望があったため | 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため |
| 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため | |
| 6. その他 () | |

問 30-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 30-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

(1) 母親

- | |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) |

(2) 父親

- | |
|--|
| 1. 利用する必要がなかった (フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった) |
| 2. 利用した |
| 3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった) |

問31 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問32 教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

すべての方に、子育てに対する考え方について
うかがいます。

問38 子育てをしていて、つらかったことは何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

★

1. 自分の自由になる時間が持てないこと
2. 経済的に負担が大きいこと
3. 社会的に取り残されているような孤立感を感じる事
4. 配偶者の子育てへの協力が得られないこと
5. 子どもの成長に対する不安があること
6. 子どもが就労のさまたげになっていると感じていること
7. 子どもを通しての友人との付き合いがうまくいかない・苦痛であること
8. 子どもを持つよろこびを実感できないこと
9. その他 ()
10. 特にな

問39 日常の子育てを楽しく、安心して行うために必要なサービスはどのようなものだと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

★

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1. 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 9. 子育てについての講座 |
| 2. 親のリフレッシュの場や機会の提供 | 10. その他 |
| 3. 親の不安や悩みの相談 | () |
| 4. 子育て中の親同士の仲間づくり | 11. わからない |
| 5. 子育てに関する総合的な情報提供 | 12. 特にな |
| 6. 父親の育児参加に関する意識啓発 | |
| 7. 子どもの病気や障がいについての相談 | |
| 8. 子どもの発達や幼児教育のプログラムの提供 | |

問40 子育てを行っていて、特に困ること、困ったことは次のうちどれですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

★

- | | |
|---|-----------------------------|
| 1. 交通機関や建物、道路について構造や放置自転車が多いことなど、ベビーカーでの移動に不自由なこと | 7. 周囲の人が子ども連れを温かい目で見てくれないこと |
| 2. 子どもが安全に通れる道路がないこと | 8. 親自身が友達を作れる場や機会がないこと |
| 3. 安心して子どもを遊ばせられる場所がないこと | 9. 子育ての経験者や先輩ママと知り合えないこと |
| 4. 暗い通りや見通しのきかないところが多く、子どもが犯罪の被害にあわないか心配なこと | 10. その他 () |
| 5. 公共施設や公共機関に子ども連れに対しての理解があまり無いこと | 11. 特にな |
| 6. いざというときに子どもを預かってくれる人がいないこと | |

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。
切手は貼らずに同封の封筒に入れ、ご投函ください。